

Book Review



CAD/CAM 活用による歯冠修復治療 メタルフリーの歴史と展望

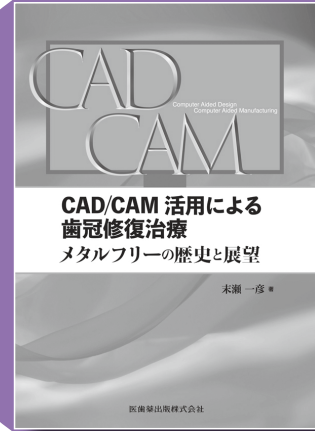
末瀬一彦 著



Reviewer

高橋英登 Hideto Takahashi
(公社/日本歯科医師会会長)

B5 判, 136 頁
カラー
定価 8,800 円
(本体 8,000 円+税 10%)
医歯薬出版刊
2023 年 8 月発行



末瀬先生とは、1980 年代前半から約 40 年以上の刎頭の友です。当時はキャストブルセラミックス(クリセラ)やハイブリッド型コンポジットレジン(エステニア)などの歯冠修復材料の臨床研究に、ともに切磋琢磨しながら取り組みました。その後も、日本接着歯学会や日本デジタル歯科学会などで一緒にお仕事をさせていただきましたが、このたび私が日本歯科医師会会長を拝命し、再び先生ときわめて近い関係でお仕事ができることをとてもうれしく、誇りに思っています。

末瀬先生は大阪歯科大学在籍当時から、歯科材料に関する研究や審美修復、インプラント治療などの臨床を積極的に行われるとともに、学生の基礎・臨床実習にも携わられ、優秀な卒業生を数多く輩出されました。さらには、専門学校の校長として 20 年以上にわたり歯科技工士や歯科衛生士の教育に関われ、歯科医師としてこれだけのキャリアをもっておられる先生は全国でもとても稀有な存在です。

2000 年代当初、まだ歯科医療に普及されていなかった「歯科用 CAD/

CAM システム」に早くから着目され、2010 年に「日本歯科 CAD/CAM 学会」を設立されました。その後は歯科技工や補綴治療だけでなく、インプラント治療や矯正治療、画像診断などにおいてもデジタル化が急速に進展し、2014 年には「日本デジタル歯科学会」と改称され、現在も 1,000 名に及ぶ学会の理事長として、常に類まれなリーダーシップをとっておられます。

このたび『CAD/CAM 活用による歯冠修復治療—メタルフリーの歴史と展望』を上梓されるにあたり、これまでの豊富な基礎的研究や臨床経験の成果を余すことなくまとめられましたことに敬意を表するものです。先生は母校大阪歯科大学の客員教授をはじめ多くの学会の要職にありながら、さらに 2021 年からは奈良県歯科医師会の会長として活躍されるなど、ご多忙を極めておられるなか本書を発刊されたことは、頭の下がる思いです。私も前職の日本歯科医師連盟会長、そして現職の日本歯科医師会会長としてきわめて激務ではありますが、会員のための執筆活動は夜を徹してでも行ってい

ますので、先生の本書にけるお気持ちを我が事のように共感しております。

本書の内容は、歯科医療における歯科用 CAD/CAM システムの導入意義・有用性、2014 年に医療保険に導入されました CAD/CAM 冠のさらなる普及のための臨床応用上の適切なポイントをまとめられ、明日からの臨床にすぐに役立つ価値の高いものです。また、長年経験されました歯科技工士教育から歯科技工の現状を分析され、近未来の歯科技工のあり方まで記載された、とても示唆に富んだ有益な内容は、多くの歯科医療関係者を勇気づけることでしょう。

このたび 72 歳の誕生日を記念して本書を発刊された経緯については、先生の思いがこもった「あとがき」にも記載されていますが、これまでの、そしてこれからの思いが詰め込まれた先生の渾身の 1 冊であります。

長年お付き合いさせていただいている盟友として、本書がより多くの関係者に愛読されることを願い、先生の今後ますますのご活躍を祈念致しております。